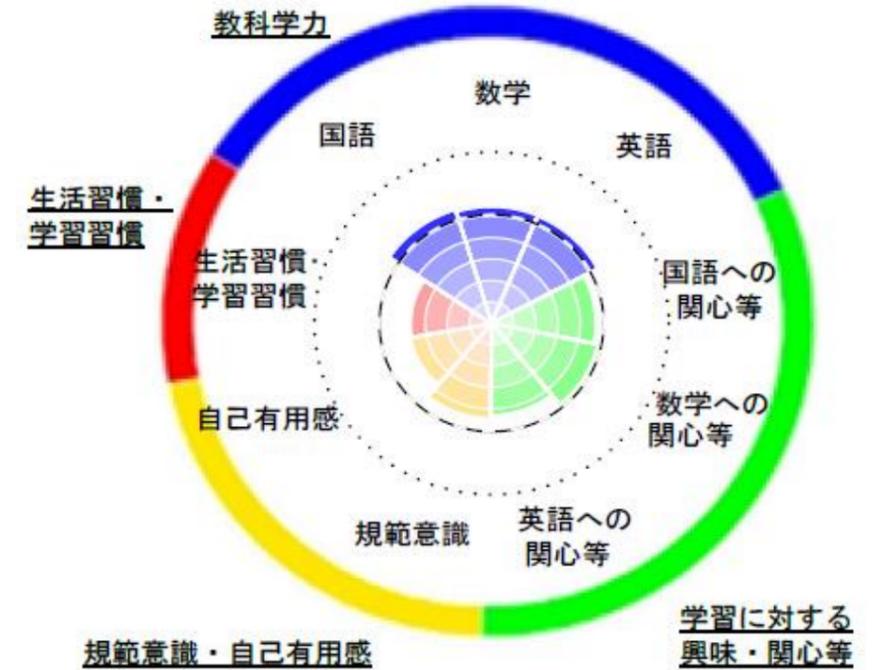


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○話すこと・聞くこと、書くことの問題、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、平均を上回っている。 ○手紙の表書きについて、実の場で何度も経験をしているので正答率が特に高かった。 ●読むことに関する問題の正答率が平均を下回っている。	・新聞を読む経験が増えるように、意識的に新聞記事を教材として取り入れる。 ・様々な情報から正確に内容を読み取れるように、様々な資料を読んで比べたり、要点をつかんだりする学習を増やし、試験問題に取り入れる。
数学	○証明で用いられている三角形の合同条件を書くことが平均を上回っている。 ○確率を求める問題の正答率が高かった。 ●長い文章から重要な点を見つけ、求められていることが何であるかわかっていない。 ●求める方法を説明する問題の正答率が低い。	・長い文章問題に取り組む機会を増やす。 ・日々の授業で理解できていることを生徒同士、前にたって説明する場面をもっと増やし、説明することへの抵抗感をなくしていきたい。
英語	○読むこと、聞くことに関する問題の正答率がおおむね平均を上回っている。 ○まとまりのある英語を読んで答える問題に苦手意識を持たずに取り組むことができたため、正答率が高かった。 ●書くことに関する問題の正答率が平均を下回っている。 ●適語補充などで不正解が目立ち、文法的な理解ができていないことが分かった。	・英作文を中心に、自分の考えや気持ちを書く活動を積極的に取り入れる。 ・既習の文法事項の定着を図るため、復習できるような活動を帯活動に取り入れる。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



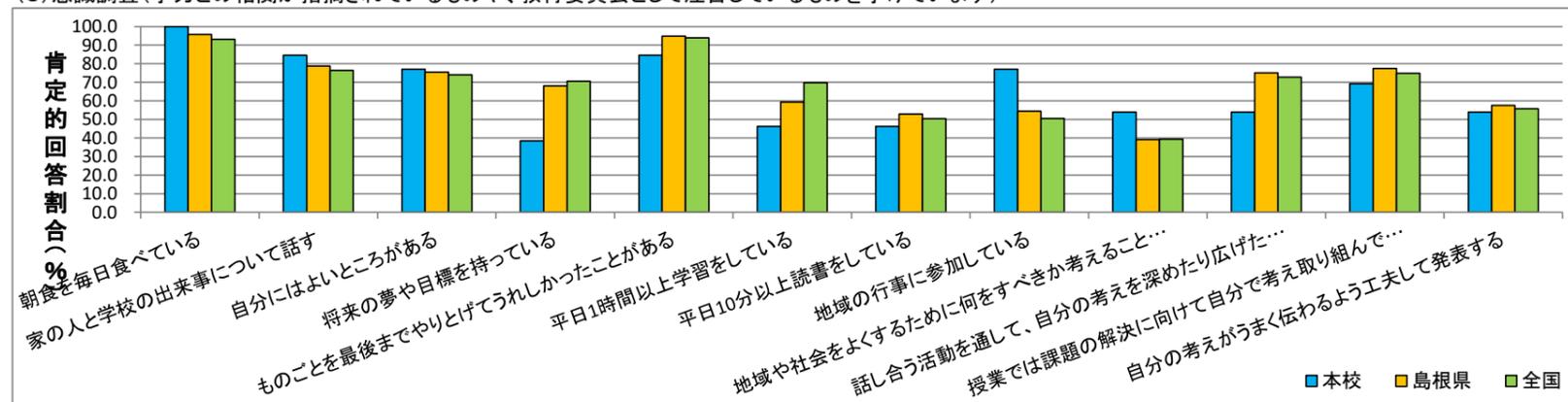
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○家庭での生活や家族との関係については、県や全国との比較でやや優位な結果となっている。 ○地域社会との関係は、かなり優位な結果であり、地域社会の中で見守られつつ、地域に貢献したいという気持ちをもっている。 ●将来の夢や目標を具体的にもっていない生徒が多い。 ●家庭学習の時間が十分に確保されていない。家庭学習が習慣になっていない生徒が多い。 ●自分の考えを深めたり広めたりする経験が不足している生徒が多い。	・目標をもって学習に取り組めるよう、進路学習の中で自己理解の時間を確保する。教育相談を充実させる。 ・受験に向けて、3年間の学習を振り返る課題を毎日だして、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ・話し合い活動を授業の中に位置づけ、思考力や判断力の向上に努める。

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・家庭学習をする際にしっかり活用させるため、生徒が参考にしやすい授業のノート作りの指導に力を入れるとともに、板書の工夫にも力を入れる。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率 (96)

	本校	松江市	島根県	全国
国語	77	73	73	72.8
数学	63	60	57	59.8
英語	58	54	53	56.0

受検者数 12人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。